●日時：12月14(木曜）日11時－13時
●会場：参議院議員会館地下1階B103号室
●テーマ：イチエフウォッチャーレポートから見えてくる廃炉作業の状況（燃料デブリの取出しを中心に）
●講師：中島賢一郎・福島原発行動隊理事

廃炉作業の中心である燃料デブリ取出しの進め方について、大きな変化が見られます。これまでは、一定の時期までに燃料デブリの全量取り出しを実現することを主眼としていた(ゴール重視）のを、取り出し作業の各ステップでの安全確保を最重点におき(プロセス重視）、ステップ・バイ・ステップで進めていこうとしています。
問題は、作業現場でこうした慎重な進め方が採られようとしつつあるのに、政府・自治体が掲げる「復興推進策」は依然一定の時期までの「燃料デブリの全量取り出し」というゴールを前提としたままで、見直しは行われていないように読み取れることです。